大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2024年度)

				<u></u>							
専門分野区	分	デザイン創作活	寅習	4目名	デ・	ザイン創作基	礎演習	₹	は目コード	D1400A1	
配当期	配当期後期		授	業実施形態		通常	•		単位数	1 単位	
担当教員:	担当教員名 坂部 和実		履	修グループ	1	I(DM/GD/ME	D/SD/SL)		授業方法	演習	
実務経験(内容	D	2D格闘ゲーム実機キャラクター制作、3Dカーレースゲーム実機モデル制作、3Dアクションゲーム実機モーション制技機ムービー・カットシーン及びモーション制作。ゲームCGデザイナーとして9年間勤務した経験を活かしてモデリン作、及びカットシーン、モーション制作を実践的に講義する。									
学習一般目	標	デザインしたキャラ	ラクターを使	想定し、その主人公や登場キャラクターをデザインする。 ターを使って プロモーションを想定し、学内作品出展に向けたポスターイラストを制作。 アピールできるものになるようプレゼンーションの技術を向上させる。							
授業の概要 および学習 の助言											
教科書および 参 考 書		「ゲームキャラクターデザイン I 」、「イラストレーション I 」と連携を組み、自分で思い描いたゲームのキャラクターを創造し、それらをイラスト作品として構成する作業の中で、 独自的でクオリティの高い表現、制作を目指す。完成度は過去の100%を大きく越えられるよう思い残すことのないところまで作り込みましょう。									
履修に必要 予備知識・ 技能											
使用機器	ŧ										
使用ソフ	`										
		学部DP(番号表記	E)	学生が到達すべき行動目標							
		2	希望職和 来る	重に対し情報	収集から需要	を考え、対応	する為の作。	品を企画し、制	削作に取り組む	むことが出	
			就活に持	就活に持っていくことのできるレベル、もしくはメディアフロンティアに出展可能な作品を1つ以上制作することができる							
学 羽到[基日	+==	3			のできるレヘ	ル、もしくはメ	ディアフロン	ティアに出展す	可能な作品を	1つ以上制	
学習到達目	標	4	作するこ	ことができる		ル、もしくはメ 訓作することだ		ティアに出展す	可能な作品を	1つ以上制	
一一 学習到達目	標		作するこ	ことができる コンセプトに浴	沿った作品を制		ができる。	ティアに出展す	可能な作品を	1つ以上制	
学習到達目	標	4	作するこ	コンセプトに沿り	公った作品を制を理論的に説	制作することが	ができる。 	ティアに出展す			
学習到達目	標	4	作するこ	コンセプトに沿ります。	公った作品を制を理論的に説	制作することが	ができる。 				
学習到達目	標	4 4 5	作するこ	ことができる コンセプトに沿り作した作品 ネット等を活活 まること:	合った作品を制 を理論的に説 用し、海外サイが出来る。	制作することが は明することが イトのチュート 成果発表	ができる。 `できる。 ·リアルや作品	品などの情報で	を積極的に収	集し、作品	
	学	4 4 5 評価方法	作するこ	ことができる コンセプトに沿り作した作品 ネット等を活活 まること:	合った作品を制 を理論的に説 用し、海外サイが出来る。	制作することが は明することが イトのチュート 成果発表	ができる。 `できる。 ·リアルや作品	品などの情報で	を積極的に収	集し、作品	
	学部D	4 4 5 評価方法	作するこ	ことができる コンセプトに沿り作した作品 ネット等を活活 まること:	合った作品を制 を理論的に説 用し、海外サイが出来る。	制作することが は明することが イトのチュート 成果発表	ができる。 ぶできる。 ・リアルや作品 作品	品などの情報で	を積極的に収	集し、作品合計	
学習 達成度評価達成度評価	学部	4 4 5 評価方法 1.知識·理解 2.思考·判断	作するこ	ことができる コンセプトに沿り作した作品 ネット等を活活 まること:	合った作品を制 を理論的に説 用し、海外サイが出来る。	制作することが は明することが イトのチュート 成果発表	ができる。 ごできる。 ・リアルや作品 作品	品などの情報で	を積極的に収	集し、作品 合計 40	
	学部D	4 4 5 評価方法 1.知識·理解 2.思考·判断 3.態度	作するこ	ことができる コンセプトに沿り作した作品 ネット等を活活 まること:	合った作品を制 を理論的に説 用し、海外サイが出来る。	制作することが 付けのチュート 成果発表 (口頭・実技)	ができる。 ごできる。 リアルや作品 作品 20 20	品などの情報で	を積極的に収	集し、作品 合計 40 40	
	学部DP	4 4 5 評価方法 1.知識·理解 2.思考·判断 3.態度 4.技能·表現	作するこ	ことができる コンセプトに沿り作した作品 ネット等を活活 まること:	合った作品を制 を理論的に説 用し、海外サイが出来る。	制作することが 付けのチュート 成果発表 (口頭・実技)	ができる。 ごできる。 ・リアルや作品 作品 20 20	品などの情報で	を積極的に収	集し、作品 合計 40 40 30	

評価の要点

評価方法	評価の実施方法と注意点
試験	
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	1月に成果発表を行います。 制作した作品のテーマやコンセプト、アピールポイントを明確に説明できるかどうかを評価 します
作品	希望職種にむけた作品、もしくはスキルアップを目標にした作品などの完成度により評価し ます
ポートフォリオ	
その他	講義の出席率、授業態度、意欲などを総合的に評価します

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	制作する作品の方向性を決める	前半:授業趣旨の解説 後半:案作成	
第2回	イラスト制作技法①レイアウト案の作成方法 作品の進捗確認。指 導。	前半:制作手法講義 後 半:指導、添削	
第3回	イラスト制作技法②ラフイメージの作成方法 作品の進捗確認。指導	半:制作手法講義 後半: 指導、添削	
第4回	イラスト制作技法③原画作成のポイント 作品の進捗確認。指導	前半:制作手法講義 後半:指導、添削	
第5回	イラスト制作技法④彩色技法紹介 作品の進捗確認。指導。	前半:制作手法講義 後 半:指導、添削	
第6回	イラスト制作技法⑤彩色技法紹介 作品の進捗確認。指導	前半:制作手法講義 後半:指導、添削	
第7回	イラスト制作技法⑥背景描画技法 作品の進捗確認。指導。	前半:制作手法講義 後 半:指導、添削	
第8回	イラスト制作技法⑦背景描画技法 作品の進捗確認。指導。	前半:制作手法講義 後 半:指導、添削	
第9回	イラスト制作技法®イラストフィニッシュワーク 作品の進捗確認。指 導。	前半:制作手法講義 後 半:指導、添削	
第10回	作品の進捗確認。指導。	指導、添削	
第11回	作品の進捗確認。指導。	指導、添削	
第12回	作品の進捗確認。指導。	指導、添削	
第13回	作品の進捗確認。指導。	指導、添削	